

文書管理台帳の自動処理

自動処理するために書き換えたコード

	A	B	C
1	文書番号	版	文書名
2			
3	QMS1	10	『品質マニュアル:臨床検査室』
4	QMS2	8	『品質マニュアル:認定項目』
5	QMS3	10	『品質マニュアル:公立大学法』
6	QMS4	8	『品質マニュアル:公立大学法』
7	QMS5	7	『品質マニュアル:公立大学法』
8	QMS6	12	『品質マニュアル:公立大学法』
9	QMS7	8	『品質マニュアル:文書体系表』

	A	B	C
1	文書番号	版	文書 最新版の一行目を
2			
3	QMS1	1	『品質マニュアル』
4	QMS1	2	『品質マニュアル』
5	QMS1	3	『品質マニュアル』
6	QMS1	4	『品質マニュアル』
7	QMS1	5	『品質マニュアル』
8	QMS1	6	『品質マニュアル』
9	QMS1	7	『品質マニュアル』
10	QMS1	8	『品質マニュアル』
11	QMS1	9	『品質マニュアル:臨床検査室』
12	QMS1	10	『品質マニュアル:臨床検査室』
13	QMS2	1	『認定項目』
14	QMS2	2	『認定項目』
15	QMS2	3	『認定項目』

```

Sub trans()
'一行目を黄色にすると、移行
Dim t, t2, d, d2 As Long
Dim no As Variant

Sheets("最新版").Activate
d = Cells(Rows.Count, 1).End(xlUp).Row

For t = 3 To d
If Cells(t, 1).Interior.ColorIndex = 6 Then
Cells(t, 1).Interior.ColorIndex = xlNone
no = Cells(t, 1)
Rows(t).Select
Selection.Copy

Sheets("全版").Activate
d2 = Cells(Rows.Count, 1).End(xlUp).Row
For t2 = d2 To 3 Step -1
If Cells(t2, 1).Text = no Then
Cells(t2 + 1, 1).Select
Selection.Insert shift:=xlDown
Cells(t2, 14) = Cells(t2 + 1, 12)
Cells(t2, 1).Interior.ColorIndex = 3
Exit For
End If
Next t2
Sheets("最新版").Activate
End If
Next t
End Sub

```

SOPのデータベース

項目管理のデータベース

1	2	3	4	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
1	シートをコピーする場合は、シートのコピー			8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
2	48		項目名称	レビュー			測定方法										試薬性能			
3	No	項目コード	検査標準作業書	版			(1)検査	(2)測定									(1)直線	(2)再現	(3)感度	(4)検出
306	304	2325	フィブリノーゲン	第2版			トロンビン時緩衝液で希釈した血漿と試薬の混合液	自動再検									試薬添付文	試薬添付文	該当なし	
307	305	2332	可溶性フィブリン	第2版			一複合体(ラテックス凝集反応)に伴う濁度	光量の3~6												
308	306	2341	FDP-E	第3版			の測定	濁度光量の160~												
309	307	2343	FDP-Dダイマー	第2版			るDダイマー	トDダイマー0.18												
310	308	2345	アンチトロンビン	第2版				アンチトロ0~1												
311	309	2500	血小板凝集能	第2版			塊を形成	透光度法	血小板が異物面に付着する現象が粘着	該当										
312	310	2510	血小板粘着能	第2版			させ、カラ	Salzman変法	3mL/分の速度で血液を押し出し、0.2g	該当										
313	311	2602	赤血球沈降速度	第2版			る速度を	Westergren	血漿中に浮遊した赤血球は連鎖形成を	該当無し。	該当無し。	該当無し。	該当無し。							
314	312	3001	総蛋白	第3版			定	ビウレット法	血清又は血漿中の蛋白質に水酸化ナ	0.2~15 g/	同時再現性	添付文書よ	該当無し。							
315	313	3002/1721	アルブミン	第3版			測定	BCP(Brome	試料にBCP溶液を作用させると、試料	0.1~7g/dL	同時再現性	添付文書よ	なし							
316	314	3010	蛋白分画	第3版			各蛋白分	セルロース	PH8.6のペロナール緩衝液で負に荷電	該当なし	該当なし	総蛋白で最	該当なし							
317	315	3050	クレアチンキナー	第3版			ースフォキ	日本臨床化	CKIは、クレアチンリン酸とADPを基質とし	2~2500 U/	同時再現性	添付文書よ	該当無し。							
343	341	3760/1936	Ca	第2版				o-CPC法	検体中のCa ²⁺ はアルカリ溶液中でo-C	添付文書よ	添付文書よ	添付文書よ	該当無し。							
344	342	3765(尿/14	Mg	第2版				酵素法	検体中のマグネシウム(Mg)は、アデ	院内直線性	添付文書よ	添付文書よ	該当無し。							
345	343	3770	無機リン	第2版				酵素法	検体中の無機リンはマルトースホスホ	添付文書よ	添付文書よ	ア血清の	該当なし							
346	344	血液-3780	鉄	第2版				Nitroso-PS	血清中の鉄はトランスフェリンと結合して	0~1000 μ	試薬添付文	ア精製水を	0 μg/dL							
347	345	3851(尿/14	総ビリルビン	第2版				酵素法	血清中の総ビリルビンは直接化剤であ	添付文書よ	添付文書よ	添付文書よ	該当無し。							

作業工程を色分け

コメントに変更前の文章が反映される

版数管理のデータベース

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
数	項目	文書番号	版	事項	分類	作成者	作成日	承認者	承認日	版	事項	分類
63	61 血小板粘着能	QP25-HEM-023	第1版	第1版作成	初版	岩瀧 麻	2009/9/24	荻原 茂	2009/10/1	第2版		改版
64	62 赤血球沈降速度	QP25-HEM-024	第1版	第1版作成	初版	岩瀧 麻	2009/9/24	荻原 茂	2009/10/1	第2版		改版
65	63 総蛋白	QP25-CIM-001	第1版	第1版作成	初版	川田 か	2009/4/1	荻原 茂	2009/4/6	第2版	3-(3)4-(1)(3)(5)9-(4)(5)18	改版
66	64 アルブミン	QP25-CIM-002	第1版	第1版作成	初版	川田 か	2009/4/1	荻原 茂	2009/4/6	第2版	3-(3)4-(1)(3)(5)9-(4)(5)18	改版
67	65 蛋白分画	QP25-CIM-003	第1版	第1版作成	初版	東 真理	2009/4/1	荻原 茂	2009/4/6	第2版	3-(3)4-(3)(5)9-(4)(5)18	改版
68	66 クレアチンキナーゼ	QP25-CIM-004	第1版	第1版作成	初版	川田 か	2009/4/1	荻原 茂	2009/4/6	第2版	3-(3)4-(1)(3)(5)9-(4)(5)18	改版
69	67 CK-MB	QP25-CIM-005	第1版	第1版作成	初版	佐藤 い	2009/9/24	荻原 茂	2009/10/1	第2版	4-2,9-1,9-2,9-3,12-1,13-4,	改版
70	68 AST(GOT)	QP25-CIM-006	第1版	第1版作成	初版	川田 か	2009/9/24	荻原 茂	2009/10/1	第2版	4-2,12-1,13-4,16-2	改版
71	69 ALT(GPT)	QP25-CIM-007	第1版	第1版作成	初版	川田 か	2009/9/24	荻原 茂	2009/10/1	第2版	4-2,12-1,13-4,14-2,16-2	改版
72	70 乳酸脱水素酵素	QP25-CIM-008	第1版	第1版作成	初版	佐藤 い	2009/9/24	荻原 茂	2009/10/1	第2版	3-1,4-2,11-1,12-1,13-4	改版
73	71 アルカリフォスファターゼ	QP25-CIM-009	第1版	第1版作成	初版	川田 か	2009/9/24	荻原 茂	2009/10/1	第2版	4-2,9-6,12-1,13-4,14-2	改版

内部精度管理の構築

コントロール測定

日常管理

期間管理

試薬類(試薬・コントロール・キャリブレーター)

Lot管理

開封日 / 調整日

処置管理

各項目

校正

装置

操作者